

利用者の声を聴く

～“対人援助のプロ”としてのコミュニケーション～

《主催》京都市洛西ふれあいの里保養研修センター
 《協賛》京都市社会福祉施設連絡協議会

「利用者主体」は、利用者の「声になりにくい声」や「聞き流しがちな声」をしっかりと聴き、受けとめることから始まります。それは、「自分のことを自分で決めたい」「人間として尊重されたい」という誰もがもっている権利であり、家族や支援者に対するさまざまな思いです。

この研修では、対人援助のプロとして、日頃の「聴く姿勢」を見つめ直すことから、利用者の思いへの理解を深めます。

【日 時】 平成 23 年 11 月 8 日 (火) 10:00～16:30

【会 場】ひと・まち交流館 京都 第4会議室（3階）（京都市下京区河原町通五条下る東側）

*別紙会場案内図または会場ホームページ（ [ひとまち](#) [検索](#)）参照

【日 程】

9:30～	受付	
10:00	講義	利用者の声を聴くということ — 対人援助のプロとして —
12:00	昼食・休憩	
13:00	演習	高齢者または障害のある当事者にご協力いただきながら ロールプレイを行います。 当事者の声に耳を傾けてみましょう！
16:00	まとめ	
16:30	終了	

【講 師】大阪府立大学人間社会学部社会福祉学科
 准教授 三田 優子 氏

【対象・定員】京都市内社会福祉施設職員40名
 （職務経験が概ね5年未満の方）

～三田 優子氏 プロフィール～

愛知県コロニー発達障害研究所研究員、
 花園大学社会福祉学部助教授を経て現職。

障害のある当事者の活動や地域生活支援
 に広く関わる。

《主な著書(共著)》

「障害者と地域生活」(2002 中央法規出版)

「心にとどくホームヘルプ」

(2004 全国精神障害者家族会連合会)

「ケアされるということ」(2008 岩波書店)

など

【申込み】 下記の受講申込書を FAX でお送りください。 **締切：10月25日(火)**

- * 「仮受講決定通知書」を FAX または E-Mail でお送りします。
- お申込み後、1週間たっても仮受講決定通知書が届かない場合はご連絡ください。
- * 定員に空きがある場合は締め切り後も受付をいたします。お問合せください。

<申込み・問合せ先> 洛西ふれあいの里保養研修センター(ふれあい会館) 事業部 社会福祉研修担当
 TEL 075-333-4653 / **FAX 075-333-4664** / E-Mail kenshu@kcsw.jp

* 「京・福祉の研修情報ネット」ホームページ (**みやこけんしゅう** **検索**)
 からでもお申し込みができます。研修情報メールマガジンもご登録ください!

【受講料】 **4,000円** *受講決定通知書に記載の振込先にお振込みください **締切：10月26日(水)**

【昼 食】 各自でご用意ください (会場周辺に飲食店、コンビニあり)

～研修を受講して～ (22年度受講者アンケートより)

「先生の話にドキッとすることや感心させられることがたくさんあった。」
 「利用者の声に心を開いて聴けていたのか、自分をもう一度振り返る機会になった。
 もっと心を開いてもらえるような援助者になりたい。」
 「普段は何気なく聴いていたようで、実は聴けていなかったのかもしれないと痛感した。」
 「自分がききたいことばかりを考えるのではなく、当事者の話したいことを
 引き出せるようなコミュニケーション力を身につけたいと思った。」

【利用者の声を聴く】 受講申込書

* 正確にご記入ください

受講者氏名	ふりがな	職 種	資 格	福祉職員 経験年数	現所属 経験年数
	年齢 () 歳代			年 ヶ月	年 ヶ月
受講動機や、この研修で深く学びたいことがございましたら、ご記入ください。					
法人名		施設名			
TEL		FAX			
経理 ご担当者名		(経験年数・年齢等は参考にお聞きするものですので、 おおよそで結構です)			

* 上記のことは、本センターの資料及び研修の参考にするためにお聞きするものです。
 * ご記入いただいた事項は、本センターの事業以外に使用することはありません。

FAX 333-4664 (ふれあい会館 FAX)